

# 令和7年度 学校運営等に関する評価書

学校名

和歌山市立八幡台小学校

作成日

令和8年3月6日

## 1 教育目標

強く・正しく・美しい心を持つ子どもの育成

- 心身ともにたくましく、意欲を持って粘り強く考える子
- 豊かな心を持ち、思いやりのある子
- 正しい判断のもと自ら進んで実践する子

## 2 学校自己評価についてのご意見

	確かな学力の向上	豊かな心の育成	健やかな体の育成	地域とともにある学校
指標	○ICT機器活用率の向上 ○全国学力・学習状況調査及び県学習到達度調査結果の市平均レベルへの引き上げ	○「心のとびら」活用5実践以上 ○いじめの解消率100%	○朝ごはん実施率100% ○早起き(午前7時)実施率90%以上	○地域との交流事業3回 ○ホームページ随時更新 ○中学校との交流を行う
意見重点目標に対する	○進んで学ぼうとする姿勢は大切である。 ○基礎基本はしっかり定着できるよう、反復練習も大切である。 ○学校と家庭の役割分担が必要である。	○いじめを許さず、人の気持ちを理解する子どもになってほしい。 ○大人が子どもをしっかりとしつけることが必要である。 ○体験学習を積極的に行ってもらいたい。	○家庭との連携が大切になる。 ○学校でしっかりと運動させてもらいたい。 ○家庭での生活リズムの確立が大切。	○HPでの発信は大切である。 ○中学校との連携交流があってもよい。
意見取組状況に対する	○自分から進んで学ぼうとしている子どもが増えてきたように感じる。 ○家庭学習が十分にできているか。 ○ICT授業の資質向上も検討してほしい。	○道徳の学習がしっかりとできているのではないか。 ○優しい子どもに育っていると感じる。 ○挨拶もしっかりできる子どもが多い。 ○子どもに寄り添う学校であってほしい。	○家庭との協力関係を大切にし、子どものよりよい生活習慣を確立できるようにしてほしい。 ○ゲームやスマホとの付き合い方については、学校でも家庭でもしっかり考えていく必要がある。	○HPやお便りで学校の様子がわかり、ありがたい。 ○小中学校の連携交流が必要であるという気持ちを大切に持ち続けてほしい。
対取組の適切性の検証結果に	○学校と家庭、両面での連携した取り組みが必要である。 ○家庭学習が習慣化されていないと子どもの学力は向上しないので、家庭との連携が大切である。 ○子どもの学力に不安を感じる。	○学校では先生方が範を示し、子どもたちの情緒面を育ててもらいたい。 ○子ども同士の良い関わりには、保護者間のコミュニケーションが円滑であることも大切。 ○ネットリテラシーの学習に注力してほしい。	○学校では、生活習慣確立に向けた学習をしっかりと続けてもらいたい。また、各家庭への協力依頼を積極的に行い、連携しながら子どもを育ててほしい。	○地域の人間が訪問しやすい学校であってほしい。 ○できる範囲で、これからもしっかりと協力していきたいと思う。
改善方法に向けての意見	○子どもが自ら学ぼうとする気持ちをしっかりと育ててもらいたい。 ○子どもたちの現状を先生の目でしっかりと見とってもらいたい。 ○家庭との連携を大切に、ICT活用を進めてほしい。	○誰に対しても優しい気持ちを持てるよう、みんなで子どもたちを大切に育ててもらいたい。 ○いじめにつながるようなことも考えられるので、子どもたちの人間関係についてきめ細かく見てほしい。	○家庭との連携をしっかりとやってもらい、基本的な生活習慣を確立させてもらいたい。 ○体育の時間や休憩時間など、学校の運動できる機会を大切にしてほしい。 ○クラブ活動があればいいと思う。	○地域から見て、これまで以上に開放的な学校にしてもらいたい。 ○学校から、もっと地域へ支援を依頼するとよい。 ○自治会と連携し、防災訓練や通学路の安全対策も進めてもらいたい。

## 3 その他のご意見

- 学校教育と家庭教育にある程度の線引きが必要。学校に押し付けるばかりではいけない。役割分担が必要。
- 自転車事故が気になる。今後の法改正も踏まえ、交通ルールを順守するよう、学校、家庭で強く指導すべきである。
- 防災訓練など、各種支援活動を学校から地域に要請してもらいたい。地域には学校を支援したいと考える人材が一定数いる。
- 行事等で来校する一部保護者の態度が気になる。喫煙、タトゥー等、周囲への影響を踏まえて行動してもらいたい。
- 自由と節度について、学校も保護者も今一度考えることが必要ではないか。
- 保護者間のコミュニケーションがスムーズであれば、児童間のトラブル解決も容易になると感じるが...